



日本初！特定非営利活動法人「森林セラピーソサエティ」協力施設認定および
鳥取県智頭町森林セラピー推進協議会との包括連携協定締結のお知らせ
(太閤の湯は開業10周年を迎え「山の日」に向けて新たな取り組みを始めます)

阪急阪神第一ホテルグループの一員である株式会社有馬ビューホテル「有馬温泉 太閤の湯」(神戸市北区有馬町池の尻 292-2 代表取締役社長 入谷泰正)は、4月7日(火)特定非営利活動法人森林セラピーソサエティ(所在地:東京都千代田区、理事長:瀬上清貴)から日本初の森林セラピー協力施設として認定を受けます。さらに「有馬温泉 太閤の湯」が10周年を迎える4月11日(土)には森林セラピー・ネットワーク会議の会長自治体である鳥取県智頭町森林セラピー推進協議会と「森林セラピー活用」における包括連携協定を締結いたします。



昨年2月、当館はアジアからの観光ディステーションを目指し、7,000㎡全面大改装を敢行しました。また、従来からの「温泉浴」に加え「森林浴」を新たな「癒し」のテーマに掲げ、多様な26種類のお風呂で日本三名泉を楽しんでいただくとともに、約6,000㎡の当館庭園にて歴史散策が楽しめるヘルスレーン「官兵衛古道」を備えた歴史探訪クア・テーマパークとして生まれ変わりました。

さらに本年、開業10周年を迎え、この2つの連携により「有馬温泉 太閤の湯」は有馬の名湯と共に豊かにひろがる六甲山の自然の恵みを皆様的心と体の健康にお役立ていただく取り組みを来年の「山の日」に向けて強化推進してまいります。

◆森林セラピー®について

森林セラピーは、医学的な証拠に裏付けされた森林浴効果のことです。森を楽しみながら心と身体の健康維持・増進、病気の予防を行うことを目指します。

具体的には、森林の中で呼吸法やヨガ、アロマテラピー等を組み込んだ心のリラクゼーション・プログラムや森林ウォーキングやノルディックウォーキングの運動を通じた身体のフィットネス・プログラムを行います。併せて温泉やヘルシーな郷土料理を楽しめたり、医師と連携して健康相談を行う場合もあります。

◆太閤の湯での森林セラピーに対する取り組み

太閤の湯では敷地内にヘルスレーンを整備しており、温泉セラピーに加え、手軽に森林浴ウォーキング、ヨガが楽しめます。また、施設内では森林セラピー基地のパフレットを配置している紹介コーナーもあります。



◆鳥取県智頭町森林セラピー推進協議会との取り組み

4月1日から販売を開始したエース JTB「ぶらり有馬」(販売期間：2015年9月30日迄)にて掲載の宿泊及び日帰り商品をお申込のお客様を対象にしたオプション商品として、有馬温泉周辺を歩きながら森林セラピーを入門篇的に体験できる智頭町森のガイド(森林セラピーガイド)による有馬温泉での森林セラピーウォーキングを実施。

5月15日から17日にかけては、太閤の湯開業10周年記念イベントとしても同森林セラピーウォーキングを鳥取県智頭町森林セラピー推進協議会と提携して開催する予定です。



◆来年8月「山の日」施行に向けて森林セラピーへの取り組み

阪急阪神の経営統合を受けて、2008年度より六甲山山頂の阪神の施設等と当社の連携として「阪神阪急六甲有馬連携推進協議会」を組織して取り組んで参りました。お蔭様で、協議会では相互送客ゼロから今年度は3万5千人を超える交流人口の増加となりましたが、「有馬温泉 太閤の湯」が開業10周年を迎える4月11日に森林セラピーソサエティ協力施設認定と鳥取県智頭町森林セラピー推進協議会との連携協定を記念して今後の有馬地域と六甲山地域が「レジャー」に加え、「健康」というテーマで協働していく取り組みの契機とすべく「森」と「温泉」による健康改善をテーマに、森林セラピーやその実践団体のトップに加え、行政の皆様にも加わっていただき、パネルディスカッションを開催いたします。

パネラー	新野幸次郎	神戸市都市問題研究所	理事長
	寺谷誠一郎	智頭町長	
	瀬上 清貴	特定非営利活動法人森林セラピーソサエティ	理事長
	山本 猛	神戸市産業振興局長	
	末永 清冬	神戸市建設局長	
	小野 倫明	日本温泉保養士協会	会長
	當谷 正幸	有馬温泉観光協会	会長
コーディネーター	入谷 泰正	株式会社有馬ビューホテル	代表取締役社長
		阪神阪急六甲有馬連携推進協議会	代表幹事

◎本パネルディスカッションを含む4月11日の10周年記念イベントのスケジュール概要は

【別紙1】にてご案内申し上げます。皆様のお申し込みをお待ちしております。

◎「参考資料5」にて農林水産省内の農政クラブ、農林記者会、林野庁広報室に本日投函された森林セラピーソサエティ発信「日本初 森林セラピー協力施設が誕生」プレスリリースをご案内いたします。

このリリースに関するお問い合わせ先
有馬ビューホテルうらら(羽栗 浩司・木村 ゆう)
TEL078-904-3117(直) FAX078-904-0993(直)

別紙1

森林セラピーソサエティ協力施設認定
鳥取県智頭町森林セラピー推進協議会連携協定記念
有馬温泉 太閤の湯 開業10周年記念イベントならびに
森と温泉のパネルディスカッションのご案内

1. 日時 平成27年4月11日(土)
2. スケジュール
 - 10:00 有馬ビューホテル フロントにて受付開始
 - 10:30 有馬温泉 太閤の湯 (約20分)
「官兵衛古道」前にてヘルスレーン開きイベント・テープカット
 - 11:00 森林セラピーソサエティ協力施設認定
鳥取県智頭町森林セラピー推進協議会連携協定セレモニー
(於 有馬ビューホテル 昇陽の間)
 - 11:20 森と温泉のパネルディスカッション
(於 有馬ビューホテル 昇陽の間)
 - 12:20 終了
 - 12:30 マスコミ関係者懇話会

3. 有馬ビューホテル
周辺地図



参加申込み表

※下記の表をFAX(078-904-0993)で4月9日までにご送信をお願いいたします。

社名	
所属	
お名前	様
連絡先	
所属	
お名前	様
所属	
お名前	様

特定非営利活動法人 森林セラピーソサエティについて

■森林セラピーソサエティとは

NPO 法人としての設立は 2008 年で、森林医学研究を行う「森林セラピー研究会（事務局：国土緑化推進機構、2004 年発足）」のプロジェクトを引き継ぐ形で事業を行っています。

森林セラピーの実践方法を指導する資格者の認定、通信教育講座の提供、実習・講習プログラムの提供、新規森林セラピー基地および森林セラピーロードの公募・審査・認定事業、今後の基地更新・昇格等の審査指標や審査基準づくりを行っています。

■森林セラピー基地・ロードの認定

森林セラピー基地・セラピーロードの認定には、森林セラピー基地候補地にて生理心理実験を行った結果、その森林において生理的に身体がリラックスできると確かめられることが必要です。

実験は森林部と都市部で同様に行います。被験者の心拍変動性、血圧などの反応を総合的に測定し、人への森林の効能を科学的に実証します。

【主な実験内容】

生理測定項目	心理測定項目（主観評価）
<p>1.心拍変動性（HRV） 心拍の揺らぎを解析することにより、自律神経活動を副交感神経活動（リラックス時に昂進）と、交感神経活動（ストレス時に昂進）に分けて数値化します。</p> <p>2.血圧・脈拍数 収縮期血圧、拡張期血圧、心拍数、脈拍数を測定します。 血圧・脈拍数はストレスがかかると上昇します。</p>	<p>1.気分プロフィール検査（POMS）</p> <p>2.SD 法（森の印象を評価する）</p> <p>3.ストレス度の評価</p> <p>4.リラックス度の評価</p>

■現在の森林セラピー基地・ロード

日本全国 33 都道県に 60 の森（55 ヶ所の森林セラピー基地、5 ヶ所のロード）が認定されています。



Web サイト : <http://www.fo-society.jp>

鳥取県智頭町 みどりの風が吹く“疎開”のまち智頭 ～ 鳥取砂丘を育む源流の森 ～

【地域づくりにおける森林セラピーの活用に向けて】

智頭町は町の総面積の9割以上が山林で、長い年月をかけてあの鳥取砂丘を育んだ“源流の森”が広がります。

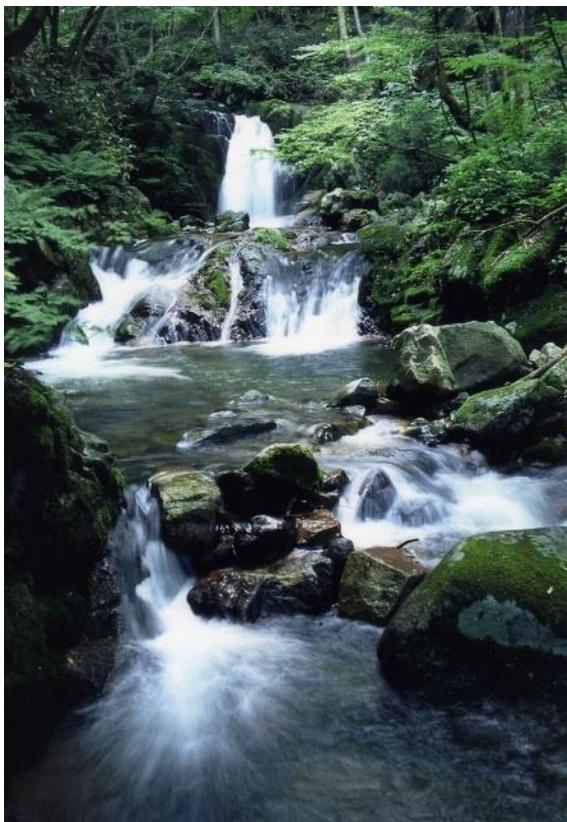
智頭町では、“森は町の大切な財産”としてとらえ、森の持つ癒し効果に着目し「森林セラピー」をまちづくりのメインテーマのひとつとして、平成22年4月1日に町全体が森林セラピー基地の認定を受け、平成23年7月30日にグランドオープンしました。

森林セラピーロードを町内各地に順次拡げ、住民の健康増進や都市住民との相互交流につなげていけるよう取り組みを進めています。



【智頭町の森林セラピーの特徴】

- 町の総面積の93%を山林が占める。
- 智頭町の森林セラピーロードを代表する芦津溪谷は、西日本屈指の溪流で、天然杉と広葉樹の混交林で、四季を通して美しい。
- トレッキングや自然観察会ではない医学に裏付けされた森林浴効果の追求
- 林業や農業との連携
- 企業向け復職支援プログラム、1次予防などのプログラム開発
- 智頭町内各地での地域づくりとしての活用



**有馬に新名所誕生！六甲の四季の自然に触れ、健康増進とともに知的好奇心も刺激する
有馬温泉 太閤の湯 歴史探訪ヘルスレーン「太閤四季彩園～官兵衛古道」**

**●お手本は温泉療法の先進国
ドイツのクアパーク**

2007年太閤の湯は民間日帰り温泉施設として日本初の温泉利用プログラム型健康増進施設として厚生労働省に認定され、翌2008年には社内温泉コンシェルジュ制度を導入。

そして本年度大改装で「癒し」をテーマとした「温泉テーマパーク」から一歩さらに進化して“健康増進”というコンセプトを付加。



温泉療法の先進国ドイツで温泉療養地の条件とされているクアパークに倣い、敷地内「太閤四季彩園」に2010年先行オープンした「ねねハーブの小径」の東側に、健康増進とともに知的好奇心も満足していただける歴史探訪ヘルスレーンとして“官兵衛古道”を整備いたしました。

●有馬ゆかりの武将・黒田官兵衛を懐旧しながらウォーキング

このヘルスレーンでは有馬ゆかりの歴史探訪を楽しめる工夫を施しています。2014年度はNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の主人公・黒田官兵衛の生涯を辿る「官兵衛古道」がお目見え。四季折々の有馬の自然と語りながら播州姫路に生まれた地方大名の家老がいつしか、天下一の軍師へと変貌する人生を辿っていただけます。



●森林浴でNK細胞活性化

2006年度の日本医科大学 李卿講師・川田智之教授の研究が、森林浴がNK細胞内の抗がんタンパク質の増加によってNK細胞活性(注1)を上昇させること、森林浴がストレスホルモンを減少させ、ストレスによる免疫抑制を解除させること、森林滞在が免疫機能を高めることを証明。森林からのフィトンチッド(注2)および森林浴によるリラックス効果がNK細胞の活性に寄与することが分かっています。

※1

ナチュラルキラー細胞(NK細胞)は、自然免疫の主要因子として働く細胞傷害性リンパ球の1種。特に腫瘍細胞やウイルス感染細胞の拒絶に重要な役割を果たします。細胞を殺すのにT細胞とは異なり事前に感作させておく必要がないということから、生まれつき(natural)の細胞傷害性細胞(killer cell)という意味で名付けられました。

※2「フィトンチッド」

フィトンチッドとは、微生物の活動を抑制する作用をもつ、樹木などが発散する化学物質。植物が傷つけられた際に放出し殺菌力を持つ揮発性物質のことを指します。

●森林浴ヨガでさらに免疫力アップ

官兵衛古道では、日本温泉保養士協会の監修を受けた森林浴ヨガのサインを古道内に3箇所設置。動きとともに呼吸を合わせるヨガによって、効果的にフィトンチッドを体内に吸引していただけるよう工夫しています。ヨガポーズは春(4月～6月)、夏(7月～9月)、秋(10月～11月)、季節ごとに替えてご案内いたします。



有馬温泉最大の温泉テーマパークから温泉地日本一のプレミアム外湯へ 2014年2月22日(土)「有馬温泉 太閤の湯」大改装グランドオープン

●湯屋番(フロント)・エントランス

安土桃山時代へタイムスリップ!!

安土桃山時代に建築された聚楽第(じゅらくだい)など代表的な建造物に取り入れられた入母屋(いりもや)屋根仕立ての湯屋番(フロント)、万葉集にまで遡る「有馬百人一首」に因んだ絵札の天井装飾が歴史上の人物たちの言葉と共に安土桃山時代の有馬町へと誘います。



◎大浴場への渡り廊下

安土桃山時代の有馬町から湯山御殿へというストーリーの中でゲストの皆様が秀吉の時代の町並みを歩き、御殿の中で湯遊びごんまいを堪能するような、そんな心浮き立つ楽しさを演出いたしております。

●大浴場「金銀癒しの湯」に

新施設「黄金の蒸し風呂」誕生

太閤の湯ならではの良質な「金泉」「銀泉」
蒸し風呂を一度に全身で体感

日本一の温泉成分濃度を誇る有馬温泉の源泉かけ流し金泉と、日本屈指のラジウム量を誇る銀泉を使用し、贅を尽くした本格派蒸し風呂を提供できるのは唯一当館のみ。岩盤浴用浴衣を身に着けず、素肌のままで当館をそのままに体感したい、そんなお客様の本物志向にお応えしていきます。



●7,000平米ほぼ全面改装といえる今回の改装では、約30,000通のお客様の声と顧客サービスノウハウを集約してより上質なおもてなしができる温浴施設へとグレードアップ

■多客時の待ち時間圧縮

下足・更衣室・脱衣室ロッカー数の増加、温浴施設数の増加、通路の拡大、お休み施設の増床湯の山街道(フードコート)の改良

■入退館の動線改良

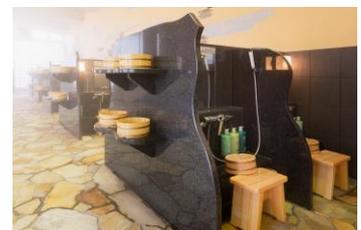
チェックアウト専用のブースを設置
団体のお客様専用ブースの設置

■外国人ゲストへの配慮

外国人向け館内サイン類および館内施設案内ビデオの制作

■快適空間の提供

浴場シャワーブースの独立化・デザイン化、ナノマイクロバブルシャワーの採用、更衣室および脱衣室の面積拡大と質感向上、上品な新形状ロッカー、意匠を凝らした洗面台、ドライヤーブース、衛生設備数の増加など



大浴場「金銀癒しの湯」洗い場

より使いやすくなったシャワーブースを採用。秀吉の馬印であるひょうたんをモチーフとした黒御影石の衝立でセパレート。

プレスリリース
報道関係者各位

2015年4月7日
特定非営利活動法人
森林セラピーソサエティ

日本初 森林セラピー協力施設が誕生

特定非営利活動法人森林セラピーソサエティ（所在地：東京都千代田区、理事長：瀬上清貴）は、株式会社有馬ビューホテル（所在地：兵庫県神戸市、社長：入谷泰正）の日帰り温泉施設「有馬温泉 太閤の湯」を森林セラピー協力施設として認定いたしました。森林セラピー協力施設の認定は全国でも初めての事例です。

森林セラピー協力施設は、森林セラピー活動の広域的な推進に特に理解を示しその協力を行っている施設を認定するものです。これにより、森林セラピー活動のさらなる普及を行ってまいります。

■森林セラピー[®]について

森林セラピーは、医学的な証拠に裏付けされた森林浴効果のことです。森を楽しみながら心と身体
の健康維持・増進、病気の予防を行うことを目指します。

具体的には、森林の中で呼吸法やヨガ、アロマセラピー等を組み込んだ心のリラクゼーション・プログラムや、森林ウォーキングやノルディックウォーキングの運動を通じた身体のフィットネス・プログラムを行います。併せて温泉やヘルシーな郷土料理を楽しめたり、医師と連携して健康相談を行う場合もあります。

■太閤の湯での森林セラピーに対する取り組み

太閤の湯では敷地内にヘルスレーンを整備しており、温泉セラピーに加え、手軽に森林浴ウォーキング、ヨーガが楽しめます。また、施設内では森林セラピーのパンフレットを配置している紹介コーナーもあります。5月15日から17日にかけては、有馬温泉周辺を歩きながら森林セラピーを体験できる「森林セラピーウォーキング」を鳥取県智頭町森林セラピー推進協議会と提携して開催する予定です。



お問い合わせ先

特定非営利活動法人 森林セラピーソサエティ 担当：鈴木 舞恋^{すずき まいら}
東京都千代田区麹町1-6-9 D I K麹町ビル3階E号室

Tel:03-3288-5591 Fax:03-3288-5592 E-mail:info@fo-society.jp Web: http://www.fo-society.jp

平成 17 年 4 月 11 日	有馬温泉太閤の湯グランドオープン
平成 17 年 10 月	金泉移動式足湯「デリバリースパ」新設
平成 18 年 4 月	太閤の湯内 岩盤ミュージアム「太閤夢蒸楽」オープン 天然温泉ミストと 11 種類の鉱物や岩石を用いたプレミアム岩盤浴
平成 18 年 10 月	ご来館 50 万人達成
平成 19 年 3 月	厚生労働省より温泉利用プログラム型健康増進施設認定
平成 19 年 4 月	ホテル阪急エキスポパーク内「夢蒸楽インエキスポパーク」 プロデュース！
平成 19 年 7 月	太閤の湯内 貸切個室岩盤浴「ひょうたん夢蒸楽」オープン 関西温浴施設初、カップル及び小グループ向け個室岩盤浴設置 アロマインハレーションを日本初設置 クールルームソルトピット設置
平成 20 年 4 月	太閤の湯内「開運祥福太閤貴宝風呂」オープン 岩盤素材に稀少なパワーストーンを使用したプレミアム岩盤浴
平成 20 年 5 月	全方位型温泉サウナ「極みの溶岩サウナ」オープン
平成 20 年 6 月	ご来館 100 万人達成
平成 20 年 7 月	阪神阪急六甲有馬連携推進協議会の設立
平成 21 年 6 月	六甲有馬元気アップキャンペーン ※六甲有馬施設連携販売の推進
平成 22 年 4 月 11 日	オープン 5 周年
平成 22 年 4 月 27 日	ご来館 150 万人達成
平成 22 年 4 月 27 日	ねねハーブの小径オープン ※参考写真 1
平成 22 年 7 月 10 日	日本初の屋外型岩盤浴 東露天風呂ゾーン 「金泉幕湯岩盤足湯」オープン 西露天風呂ゾーン 「銀泉陣幕岩盤足湯」オープン
平成 24 年 1 月 24 日	ご来館 200 万人達成
平成 25 年 4 月 30 日	ご来館 250 万人達成
平成 26 年 2 月 22 日	7,000 m ² 全面改装オープン
平成 26 年 2 月 22 日	歴史探訪ヘルスレーン 「官兵衛古道」オープン ※参考写真 2
平成 26 年 10 月 15 日	ご来館 300 万人達成
平成 27 年 4 月 11 日	オープン 10 周年



※参考写真 1



※参考写真 2

以上